

MONTHLY REPORT



7
2012



2012-2013 岸会長年度スタート！



contents

- 会長挨拶 2
- 最終夜間例会 3
- 家庭集会 4~6
- 阿南RC俳句会・理事会報告 6
- ニコニコ委員会より 7
- 短期交換留学生 歓迎パーティー 8



会長挨拶



2012-2013 会長
岸 彰

阿南ロータリークラブの活動方針と 会員皆様へのお願い

推薦をいただき第55代阿南ロータリークラブ会長に就任しましたことは大変名誉なことでもあります。しかし、歴代会長の優れた品格や見識を思うにつけ、私に勤まるのかと忸怩たる思いは拭えませんが、自分らしく身の丈に合った努力を重ねることで任を全ういたしますので、会員の皆様方のご指導・ご協力お願いいたします。

今年度は奇しくも国際ロータリー会長に過去3人目の日本人・田中作次氏が就任されたことで、多くの会員にとって今までに増して親近感や連帯感を感じていることと思います。掲げられたテーマは「奉仕を通じて平和を」であります。奉仕はロータリアンであること、あるいは活動を実践することだと考えます。平和には広くて深い意味があり、会員各位がそれぞれ思いを巡らすことで、クラブとしての共通の認識が醸し出されてくるのではないのでしょうか。

次に我がクラブの2012-13年度の重点活動項目と検討課題につき私見を述べさせていただきます。

1. 会員増強

会員増強なくしてクラブの活性はなく、ここ数年重点課題として取り組んでまいりましたが、今年も継続してまいります。その一環として委員を理事全員で担っていただくことで、情報交換が出来やすい体制にします。若い人や女性が入会し易いように、入会金や年会費の減額も考慮してはいかがでしょうか。

2. 25回記念一輪車大会

今年25回の節目を迎える一輪車大会を記念大会として実施します。特別委員会を立ち上げ、新世代活動委員会と協力し計画立案と大会運営に主導的に関わっていただきます。追加予算としては周年事業積立金からの支出もお願い出来ればと思います。

3. クラブ運営の簡素化・スリム化

会員の減少や高齢化は避けられない現実であり、我がクラブの輝かしい伝統は継続しつつ、時代に即応した改革を皆様とともに考えてまいります。

この一年、ご支援よろしくお願い申し上げます。

親睦委員会の1年間

前親睦委員長 中島佳文

「ロータリーは親睦から」というキーワードをモットーに活動したこの1年間の親睦委員会活動を振り返ってみたいと思います。

親睦の年度最初の事業は、8月7日の納涼家族会からスタートしました。今年は6年ぶりに北の脇海水浴場から離れ、上勝町の月ヶ谷温泉キャンプ場で行われました。会員とその御家族約40名の参加をいただき、バーベキューや温泉など休日を楽しく過ごされたようです。

次の行事は、9月の韓国チェジュ島親睦旅行です。残念ながら私は参加できませんでしたが参加された方は、ゴルフや観光を十分楽しまれたようです。また12月20日には、恒例のクリスマス家族会を開催いたしました。会員御家族、阿南工業高校インターアクトクラブ関係者、阿南高専留学生の方々など、総勢100名以上の出席をいただき、フラメンコやビンゴゲーム、そしてサンタクロースによるプレゼントなどで大いに盛り上がりました。

年が変わった春。4月8日には、花見例会を開宴いたしました。場所選定には林会員にご尽力を賜り、とても美しい桜を愛でる事ができました。また今年も、天候が不順で寒い日が続いた事により桜の開花が遅れ、花見例会の日程が決められず、プログラム委員の堤委員長及び会員の皆様にはご心配をおかけいたしました。

5月の第2週には、家庭集会を行いました。前期で実施する予定でしたが諸事情で行えず、これもまたプログラム委員長にご迷惑をおかけいたしました。

そして6月28日に最終例会の進行役を務め、親睦の行事は総て終了いたしました。

最後に「ロータリーは親睦から」をモットーにやって参りましたが、まだまだ反省すべき点は沢山ありました。また会員の皆様や事務局の大上さん、そして親睦委員会メンバーのご協力が無ければ、この1年間やってこられなかったと思います。この1年間、親睦活動にご協力を賜り、ありがとうございました。

納涼家族会



▲クリスマス家族会

花見例会



▲大上さん、いろいろお世話になりました。兼松さん、よろしくお願ひします。



▲1年間ご苦勞様でした。



▲杉浦君、国際親善奨学生としてイギリス・バーミンガム大学での生活を満喫してください。久米会員、カウンセラーよろしくお願ひします。

2012-2013

家庭集会

「ロータリーをもっと楽しむために」をテーマに家庭集会が行われました。

5/15
(火)

●開始時間 18:30～ ●会場 井村会員宅

●出席者 井村会員・岸会長エレクト・阿井会員・久米会員・峰会員・石澤会員・堤会員
●欠席者 小川会員・平野会員・片山会員

冒頭、岸会長エレクトから以下の話があった。

- ・今回の家庭集会のテーマは、「ロータリーをもっと楽しむために」です。ロータリー活動の基本精神は「奉仕」ですが、それに「楽しさ」がプラスされれば言うことはないし、さらに阿南ロータリークラブの活性化に繋がることになると思います。
- ・今日の家庭集会では、いろんな切り口から忌憚のない意見を出して、有効な施策があれば来期の会長として、積極的に取り入れたいと思いますので、みなさんの活発な討議をよろしく願いいたします。

A. 例会をもっと楽しむために 出席しやすく、かつ会員相互の交流しやすい環境づくりが必要だと思う。

①夜間例会の回数増加 夜間例会を後3回ぐらい増やしても良いのではないかな。いろいろと試して、出席率が悪ければ元に戻せばいい。

②例会着座位置の変更による会員相互の交流

③会員卓話の推進 会員卓話は自分自身をオープンにする格好の機会であり、コスト削減の面からも推進すべきである。

B. 親睦会での会員家族の交流

今までより参加人数を増やして、効果的な家族交流を深めるにはどうしたらよいか。

①豊富なバリエーションによる選択開催と回数増加 種類を多様化し、開催日は複数案企画して、参加者の多い日に開催したらどうか。

C. 趣味を通じての会員交流

メジャーな趣味以外の、将棋・囲碁・麻雀などマイナーな趣味でも交流したらどうか。

①個人趣味のオープン化 趣味一覧表を作成し、参加できる趣味をチェックして、新たな交流を図る。ただ、プライベートの尊重が前提なので、困難であろう。

D. ホームページを通じての会員交流

阿南RCのホームページへの会員のアクセス件数は非常に少ない。数を増やすにはどうしたらよいか。

①掲示板の有効活用 パスワードを公開し、内容は問わず、誰もがいつでも書き込みできるようにすればどうか。



5/16
(水)

●開始時間 18:30～ ●会場 三谷会員宅

●出席者 品川会員・海原会員・三谷会員・湯浅会員・原田会員・庄野会員・田中会員・藤井会員

出席者8名にて、定刻に始まった。おいしい料理を前に今日のテーマの話し合いをしなくてはならないのだが、まず最初に乾杯で始まり、テーマのように楽しい団欒をして、小一時間を過ごす会員の皆様に、どうしたら楽しいロータリーになるか意見を聞くと、親睦旅行の参加を日帰りと一泊の二回ぐらいしてはどうか、世界大会への参加、プログラム卓話を楽しいものにして欲しい、今は家庭集会が1回あるので、夜間例会を2ヶ月に1回ぐらいにして会員の親睦を図る。ゴルフ・真向法・俳句等があるが、旅行をすすめて欲しい。最近のロータリー名簿を作って欲しい。若年会員・女性会員の増加等、最後にロータリーが楽しい会になるには皆が仲良くすること、で締めくくられました。2時間はあっという間に過ぎました。

5/16
(水)

●開始時間 18:30～ ●会場 若木会員宅

●出席者 若木会員・大久保会員・中川会員・藤崎会員・森岡会員・楠原会員・中島会員・森会員
●欠席者 小暮会員・土居会員

大久保会員の司会進行で一人ずつ意見を言うことで始まり、酔いが回るにつれ、率直というかストレートというか、熱のはいった意見が活発になりました。

皆さんの総意を結論から先に申しますと、家庭集会は会員相互の懇親を深めるためにも、絶対必要であり、今後も続けていくべきだということでした。

主な意見をまとめてみますと、

- ①泊まって飲んで話したら、親しい裸の付き合いができるので、一泊程度の親睦旅行をもっと多く計画して頂きたい。
- ②遠方から会員になっているが、例会以外にも参加して楽しくなり財産になっている。しかし、入会最初のころは敷居が高かったのが、新人には特に優しく親切に接していくことが必要だと思う。
- ③もっと遊びの場を多くすることが良いのではないかな。夜間例会などを増やし親睦の機会を多くすべきではないかな。
- ④会長等、役員のを丸出しにした、明るく楽しいキャラクターは例会を楽しくさせる。
- ⑤例会にほとんど出て来ない人もいる。出て来ない要因を真摯に考えてみる必要がある。

また、欠席者に対するロータリー規律の遵守が、昔と違い甘くなっているのも現実である。規律の遵守を、どう進めていくか難しい課題である。

5/17
(木)

●開始時間 18:30～ ●会場 高井会員宅

●出席者 藤崎会員・峰会員・谷会員・西田会員・林会員・高井会員・田村会員
●欠席者 守野会員・日下会員・湯浅会員

- ・家庭集会で持ち帰って実行した事はない。
- ・県内でも、家庭集会を行っている所は少ないし、例会ではなかなか話す時がない。続けて欲しい。
- ・出席にこないメンバーに声をかけて欲しい。ロータリーをやめたい時に先輩から、出てこいとお誘いがあった。
- ・新しいメンバーが入ってくる事も楽しいが、古いメンバーでも、きちんと出席されている方がよい。紹介した方が声をかける事。
- ・ロータリーは出席 例会をふまえて、I.M.では会員増強でなく、退会防止の（新しい会員のフォロー）をよくする事。紹介した人が親睦図り、気くばりをする。思いやりがもっとも必要。
- ・入会した時から委員長など役員をすればどうか。
- ・花見例会を家族同伴で出席できるようにすればどうか。
- ・あいさつをしよう。自分が楽しまなければ楽しくない。

5/18
(金)

●開始時間 18:30～ ●会場 荒谷会員宅

●出席者 大津会員・六車会員・吉田会員・神原会員・鳥海会員・荒谷会員
●欠席者 門田会員・兼松会員・吉岡会員・小松会員

ロータリーをもっと楽しんで貰うためには、新入会員や新しい会員にもっとロータリーを理解し楽しんで貰う事も大切である。

- 新入会員の居場所を先輩が作ってあげる。
- ・出席委員ばかりではなく写真担当、ニコニコ発表など積極的に活躍して貰う。
- ・各種行事には自主的にもっと参加して貰う。
- ・新しい会員も“受け身”ではなく積極的に行動して欲しい。
- ・先輩達には仕事を成し遂げた人が多いので良いところを勉強（尊重）して欲しい。
- ・異業種のトップの集まりなので、もっと集まり場面のメリットを活かして欲しい。

- ・会話も気心の知れた特定の人ばかりでなく、多くの人に声かけをして欲しい。
- ・ただ、社会人として、先輩への気配りも大切である。
- ・まずは時間を作って例会に参加して欲しい。

●ロータリーの在り方について

- ・ロータリアンとして変えてはいけない三大義務は尊重する。(出席・購読・会費)
- ・規則に縛るのではなく、徐々に時代の変化に順応することも必要。
- ・欠席の報告義務は必要ではないか？



進行役の大津会員がこの日は絶好調！非常に白熱した議論が続きましたが一応まとめなければと言う事で、9時30分頃に閉会となりました。

意見を集約しますと

『ロータリーの三大義務である、“例会に出席する”ことが先ず大切である。会員の皆さんには各行事にも積極的に参加してもらって、毎週の例会とは少し違う各会員の人柄や雰囲気を楽しむことで、会員同士の人間関係が構築できるのではないか？また、各行事にも参加してもらうことにより、例会だけでは得られない新しい発見や感動があって、会員同士の仲間意識も向上し、例会がより楽しくなるのではないのでしょうか？』という結論でした。

平成二十四年 六月

	裕次郎若しシネマの館薄暑		古の格子戸涼し妻籠宿		ウワツラッキー雲海の間金環食
	神原 鹿山		清原 真治		久米 浩一
			不器用に古きを愛す更衣		品川 重晴
			瀬の音に演歌の小節鮎の宿		藤崎 稔
			ネクタイもシャツも決まらぬ薄暑かな		峰 敏勝
			妻と趣味違へど共に梅雨ごもり		石澤 三朗

●短期交換留学生 歓迎パーティー



6/30



▲高専吉田校長を中央に左側が橋本君家族、右は留学生の2人

2人の留学生を迎え、歓迎パーティーを開催しました。岸会長の挨拶で始まり、2人の紹介がありました。異国の地で言葉の不自由や寂しさを少しでも解消しようと、兼松会員の機転で阿南高専に応援を求め、吉田校長先生はじめ留学生に参加していただき、約40人での焼肉パーティーとなりました。ニュージャージー州へ留学する橋本君も家族同伴で参加し、大いに盛り上がりました。



▲岸会長あいさつ



▲バナー交換



▲交換留学生のショーン マックネリー君とウィリアム ウェスターマン君



▲カ・ン・パ・イ!



▲阿南高専の留学生の皆さん



▲花火は留学生の皆さんに大人気



▲奇声をあげ喜んでくれました。

